

日本クリスチャン・アシュラム連盟

秋季号

開心  
静聴  
充満  
献身  
奉仕

# 日本アシュラム

United Christian Ashrams of Japan

Autumn 1975

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであつて、常に新しい家族の参加を期待している。

## 気苦勞・心配・不安

スタンレー・ジョーンズ

人格を傷つける多くの強敵の中に気苦勞、心配、不安などがある。

凡そ悪というものは大低善のゆがめられたものである。気苦勞、心配不安は善のゆがんだものである。私たちには将来を見越して計画したり用意をしたりする本能がある。この前途を予見する能力は、多分人間が他の動物以上に向上した根本的理由の一つであろう。

明日いかに生き、永遠にいかに生きるかを計画する。即ち過去、現在、未来に関心を持つ人間である。しかしこれは長所と共に欠点でもある。敏感であることは、気苦勞の原因でもある。練達と推進力を与える健康的な不安があり、それらを取去って私たちを抑圧する不健康な不安もある。従て不安は他の精神力と同様、よく統御して、建設的な目的のために用いなければならない。統御しないと、それは気苦勞や心配となり、それ自身や他のものまで破壊するようになる。不安と気苦勞と心配とは人間が生活に取入れることのできる

最大の悪の三位一体であると言えよう。これらは凡ゆる犠牲を払っても抜き取るべきものである。

主イエスはそれらを見ないようにして、恐れに打ち勝つようになるとは人々に教えられなかった。それらを見ることが、不安などを面と向って直視し、しかも恐れないようにと教えられた。

あなたが直面する凡ゆる不安、凡ゆる患難、凡ゆる病、凡ゆる罪は、あなたの従う唯一のお方、キリストによって既に打ち破られ、打ち勝たれていることを覚えよ。

あなたが負かされてもよいと思わない限り、何物にも負かされる必要はない。あなたの意志を勝利の側に投ずるなら、実在の宇宙全体があなたの意志を背後から支え、それと共にあなた自身をも解放し、再強化し、救済する。

そこで次は心配や不安を一種の無神論であると思うことである。神と共にあれば、あなたはそれと対決して打ち勝ち、あなたの生活目的に同化させることができる。神と共にない

なら、あなたは焦り、あわて、負傷するにちがいない。

不安や気苦勞の無駄な努力を、神によって、愛を通して働く信仰の真の力と取交えて頂きなさい。

人生には困難がある。そのようにできている。しかし明日やその次の日の困難まで今日の中で望見しないがよい。今日は今日だけに直面しなさい。もし気苦勞の予想で来週の困難を今日の中に入れると、今日を全うできない。あなたは一つは現在のもの、今一つは気苦勞によって持込んだ明日の困難という、二組の困難に一度に対処することになる。かくてあなたは未だ来ない困難と現在のもとの二重の困難に対決するわけである。気苦勞は来るとは限らない困難に払う前払いの利息である。そのあるものは来るだろうが、その時あなたはそれを別々に対処し、征服することができ。今日の困難に明日の困難を加えては、あなたが破られてしまう。

「分割して征服せよ」の理論は、ここに適用される。気苦勞を分割して一度には一日の心配だけに対処してそれに勝つことである。多くの気苦勞を集団的に一日の中にドッと押しよせさせないことである。分割して征服せよ。今日は今日の問題だけ

発 都 町 田  
東 原 古 田  
江 古 田  
編 澤  
海 老 沢  
発 瀨  
高  
定 価 1

▼参加者が何度でも読むべきもの  
アシュラム・ピン一個二〇〇円  
『イエスは主なり』のマーク

に対処せよ。

不安のときには何もしないことである。なぜなら不安は大低、偽りも

『山で示された型どおりに、注意してそのいっさいを作りなさい』、その型が『山で』示されたことを注意せよ。あなたの人生を決して不安の谷で示されるどんな型にも従って作ってはならない。信仰の山に到達するまで待つてから、あなたの人生計画を立てることである。

あなたの信仰と神の信仰とが一致する時、何事でもすることができ(「豊かなる生活」より抜粋)

### 短歌「聖都にて」

沢 白 夢

あこがれの聖地に今しわれ着きぬ  
ここイスラエル夢かうつつか。

オリブの山の上に立ち見渡せば  
聖都に今日もシャロームありや  
オリブの老樹の立てる園ありき  
わがために主はここに祈れり。

血の汗を流し祈れるみ姿を  
われは見たりと告ぐる老木。  
エルサレムはるかに望み嘆かれし  
坂にわれ立ちみむね痛まし。

### 各地だより

#### 第七回中部アシュラム

委員長 内村 サムエル

ハレルヤ、中部アシュラムのために御加禱と祝電を心より感謝いたします。今回は前回と大体同じプログラムを組み、準備しましたが、幾つか特色がありました。昨年の参加者が今回も集まったこと初めて祝日を用い、信徒が出席し易かったこと、ある教会は修養会をこれに合流されたこと、今回の助言奉仕者に山根可弐理事を迎え、九月十四日午後から十五日夜まで名古屋の一麦教会で行ない、主題「イエスは主なり」を徹底して心に刻みつけたのですが、山根師の長い信仰生活からアシュラムに傾ける情熱により一同が深く植えつけられました。参加者は昨年の倍以上で十六教会から九七名が出席され、アシュラムの恵に答えてこれから主に仕え伝道にかける意気ごみを感じました。

今年の地区委員(長)内村(書記)吉田(日基桃山)会計、松原(一麦)屋城(福音自由)戸沢(救世軍)満丸(日基)信徒委員、望月、山崎、日江井、以上九名で、すでに明年秋の計画も大体立てることができました。昨年お出で頂いた高瀬理事長、病体を無理して来て、下さった山根師によるしく。祝福を祈りつつ

#### 第六回道南アシュラム

委員長 白川 鄭二

九月十三日、十五日、岡田実牧師を助言者にお迎えして函館千歳教会を会場に開かれた。道南ではペンテコステ派の信徒も積極的に参加される。ハンター師によると、これは世界でも珍らしいとのことだが、それだけに異色がある。

今回は「行って実を結ぶ」を主題にして、訪問伝道の指導者の来会により平素、個人伝道に熱心な方々が活発に発言し、立証され、靈気あふれる集会となった。岡田師はみ霊に満され、歩み、伝道するといふ明快適切なメッセージを語り、今後進んで伝道しようとする人々にとっても力強い励ましであった。

なお開会礼拝では増井誠太師により、今夏ウガンダの聖会で、非常事態の下、武装兵が集会の中に入って監視していたが食物の乏しい生活にも拘らず数十キロを裸足で集ったきた人々の純真な信仰に深い感動を受けたお話があった。

聖書の解明は白川師により「ヨハネにおける聖霊」に就てなされ、充滿の時には「聖霊の満しを信じる、恐れずに伝道する」。「永くためらった父母への伝道をする決心ができた」。など次々に受けた恵みが披露され、アシュラムの五大原則が信仰生活に根を下ろしてきたことを示している。参加者は五〇名。熱心な祈り、力強い証しが集会を霊的に充実し、祈禱細胞の持ち方も円滑に行われ

### クリスチャン。

#### アシュラムの守り方(一)

##### ▽各種のアシュラム。

最近世界の各地で各種のアシュラムが守られるようになったので、クリスチャンの守るアシュラムとどこが違うのかを知る必要があります。

アシュラムの起源はインドからで、サンスクリット語のシュラムは「労働」、アは「から」を意味します。つまり日常生活から離れて自然の中の道場で有力な指導者(グル||教師)を中心にして修養することでありませう。

従ってインドでは詩人タゴールの下には人生哲学を学ぼうとする人々が集まり、タゴール・アシュラムが行われ、無抵抗主義者ガンジーの下には平和と自由を求める人々が集まり、ガンジー・アシュラムが守られていました。

最近資本主義社会の物質文化と機械的な労働にいや氣を抱く若者が多くなつて、群を作つて放浪生活に出たり、山寺で共同生活を営みながら、断食と瞑想と労働(自給生活)をして、「内なる声に耳を傾けて生きよう」としています。

あるグループはインドから学んで来て彼らの修養道場を「アシュラム」と称していますが、そのような活動が全国に数十ヶ所もあると報ぜられています。しかし彼らの多くは都会からの逃避が主要な目的動機であつて、参加者の信仰は問題にせず、各自がそれぞれの宗教の

### アシュラムの五大原則

(一) キリストへの明渡し

た。十月には反省会を開き、同時に次回について相談することになっている。

### 第五回東北アシュラム

青森の浅虫温泉で開く準備を進めてきたが、現地の実行委員の先生が急に入院され、やむなく郡山教会で一日アシュラムを九月二四日(水)に守った。「現代の緊急な要望に答える」を主題にし、東京の高瀬恒徳師を助言者として迎え、午前十時から開会礼拝、木井敏夫師が「開け渡したい」と題して説教、続いて高瀬師により開心の時と中食後の御言についての指導を受け、二時から祈りの細胞にて分ち合い、再び高瀬師により充滿の時を守った。参加者は会場の変更にも拘らず四十四名出席され、一同大いに祝福を受け、午後四時に閉会としたが、有志の者が残って高瀬師の助言を求め、次の日も一日付近の風光を車を連れて眺めながら語り合い祈り合うという特異なプログラムを持って幸いであった。

### 第十回九州アシュラム

九州地区では九月二二日～二四日(祭日)にかけ二泊三日、昨年同様、福岡の西南山の家で「ただ御言を下さい」を主題に榎本保郎師を指導者として迎え、オリエンテーション、第二日午後の講師の時間、最後の充滿の時の指導を願った。開会礼拝(野口師) 聖書研究二回(川野師) もよいお話を下さった。おかげで参加者四〇名の霊性が深く養われたことは感謝の至り。

### 各個教会主催のアシュラム

#### 江古田リトリート(23回)

去八月九日～十一日まで軽井沢ベテルハウスで二泊三日間、「祈りの生活」をテーマに、横山義孝師を迎え、海老沢宣道師、クレイラ師が礼拝、夕拝を担当、開心、静聴、分ち合い、充滿の時を主イエスの御指導の下に守る。横山師の助言は特に青少年達に強い奨励となった。参加者三〇名一同豊かな恵みを頂いて教会への奉仕を心に期しつつ下山した。

#### 代官山アシュラム(3回)

東京渋谷の代官山教会は中村武牧師の祈りにより今年第三回のアシュラムを主催し、去九月二四日(祭日)に海老沢宣道師を助言者として迎えて、一日アシュラムを開いた。主題聖句は黙示録三章二〇節の「見よ、わたしは戸の外に立って叩いている」を掲げ、開会礼拝で海老沢師は「内住のキリスト」と題して説教し一同が心を全開して主を迎えいれるようにと勧められた。午後は静聴、恵み、充滿の時をもって共に聖餐に与り、主にあるコイノニアを体験することができ感謝であった。十教会から三二名の参加があった。

### 予告

#### ○関東アシュラム(第十四回)

十月九(木)～十一日(土)

奥多摩古里の福音の家で  
主題「聖霊における喜び」(ロマ書十四章十七節)  
助言者、横山、中村、帆足、岡田、海老沢の諸師。

#### ○関西アシュラム(第十回)

十一月二三日(日)～二四日(月)  
吹田市千里山シオンロッジで  
助言者、中路、後宮、土山、平方、西条、辻中、杉田、金の諸師。京阪神各地からの多数参加を祈っている。

#### ○東京城北アシュラム(第五回)

十一月二三日(日)～二四日(月)  
新宿区下落合、池ノ上教会で

同教会の献堂五周年を祝賀して、高瀬岡田、海老沢、大久保の諸師が山根可也牧師に協力、朝拝、開心、恵の時、立証  
第二日は静聴、聖書、充滿の時を分担奉仕する。何れの教会からも参加歓迎。

#### ○東京江古田の一日退修会

十一月九日(日) 朝拝から夕刻まで  
中野区江原町・江古田教会で  
単独教会の退修会であるが、高瀬恒徳師を迎えて、朝拝、静聴、祈りの細胞、充滿の時を持つ。有志の参加を歓迎している。

以上これから次々に開催される諸集会のために全国同志の篤いお祈りを願いたい。

#### △谷本清理事渡米中

谷本理事は米国各地を巡回「原爆とその後」に就き講演旅行され、十月下旬に帰国の予定。御健斗を祈る。

- (三) 聖霊の啓導と充滿
- (四) 神の国の体験と献身
- (五) 教会への奉仕と伝道

様式によって瞑想しています。偉大なグルはいません。互に心を開いて同志として悩みを分ち合い連帯して生きることの意味を見ているようです。

クリスチャン・アシュラムは、故スタンレー・ジョンズ博士が、インド伝道六十年の経験から、ヒマラヤ山麓のサトタル(七湖)で英国婦人宣教師とインド人牧師と三名で、アシュラムを守った事から初まったものです。それが同師の伝道と共に北米、北欧、日本へと移植されて、更に各国のキリスト教会でも守られるようになりました。

クリスチャン・アシュラムはインドその他のように人間的なグル(指導者)を持たず持つ必要がありません。なぜなら「イエスは主である」と仰いで服従する者たちの集いだからです。講演とか講義をする講師も迎えません。参加者が従わねばならぬ中心的人物を置きません。なぜなら私たちに語りかけ導くお方は、強いて言わなくとも主イエスの他にないからです。信仰運動の中心になれるほど聖潔な人間はいないので。

ここでは教職信徒の別なく兄弟姉妹としての交わりの中で互に愛し仕え励まし合うのです。しかしその連帯性とは、ただ日常生活が嫌になって逃避した連中の意気投合とはちがいます。主イエスによって罪を赦された者同志として、聖霊の賜う一致を経験する交わり(コイノニヤ)であります。

アシュラムの歌

東京 小柴 資子

- 一、主よ、今ここに きたりてつどう  
すべて世のわざ かなぐりすてて  
うけいれたまえ われらの祈り  
あゝアシュラムの明け渡す時
- 二、主よ、語りませ うえかわきつゝ  
み許にきたる 静けきみ声  
聴かしめたまえ しもべの耳に  
あゝアシュラムの 静聴の時
- 三、主よ、奉仕こそ われらの願ひ  
この身もたまも 主のものなれば  
いぎよろこびの 声うちあげて  
あゝアシュラムの 労作の時
- 四、主よ、今こそは 愛とかがやき  
恵みとかんしや 溢れみなぎり  
献げんこの身 み名の榮えに  
あゝアシュラムの 充満の時

(関東アシュラムにて)

紀行

ナザレの村にて(2)

海老沢 宣 道

シナゴク教会を出て町の中央通りを北へ上って行くと、T字路の真中に「マリヤの泉」がある。今日は水道の蛇口がついていて簡単に水を飲めるようになっていて、昔はマリヤも村の女たちと共に水瓶を持ってきて釣瓶で水を汲上げたのであった。そのすぐ北にギリシヤ正教のガブリエル教会がある。天使の長ガブリエルが訪れたマリヤの家があった所と信

ぜられている。その礼拝堂の左手下に台所のような岩屋があり、表通りからも降りて来る石段がある。ここで聖母は幼児イエスのおしめなどの洗濯をされたに違いない。その西南の山手には主イエスが青年時代を過ごされた家をかこんで「ナザレ女子修道院」がある。

「ナザレの村にて主の過しし、かくれし三十年ゆかしきかな。人知れぬ谷に湧く泉か、森の奥深く咲ける花か」

復活の後に弟子たちと食事をされた場所には、フランススカン派のメンサ、クリスチ教会が建っている。町の南部には別に小高い岡があり、「ジャンプの山」と言われている。主イエスが伝道に來られ、イザヤの予言が今日成就したと宣言したため村人たちが怒って、主をその崖からつき落そうとした時、主は遙か東方のタボル山へ飛び移られたというのである。

日曜日の朝、私たちは告知教会の礼拝を中途で失礼して、すぐ近くの小さな福音派聖公会を訪ねた。丁度礼拝が始まる所で、スハイル・ラ・マダレ長老とリヤ・アブ牧師に挨拶すると、特に説教の前半を英語に切変えて、さんびかも四一九番と同じものを用いてくれたので感謝した。会衆は私たち二十名を除くと、あとは僅か十数名のアラブ人だけであった。その中に一人日本の女子青年がいるので挨拶すると、一行の一人内川兄のよく知った人で、今キプツで勉強中とのこと、奇遇を喜び彼女にキプツへの案内を頼む。

旧市街の山手には新しい町が建設されつつあり、西側には大きな菓子製造所や自動車工場などもあって、活気のあることがわかる。「ナザレの伏屋に疲れをいとわでいそしみたまいし昔は知らねど残りしみわざにわが主と知るかな。」

良書紹介

E. Stanley Jones: The DIVINE YES, 1975, Abingdon Press

故ジョーンズ博士は一九七一年秋に第十回目の日本伝道と八地区でのアシュラムを守られ、六千名の決心カード記名者があったことを感謝して帰米されたが、オクラホマ・アシュラムの最中に発病されて入院、半身不随、言語障害のため医師は再び歩行も説教も不可能と診断された。しかし博士の信仰は主の医しを受けて再起、エルサレムでの世界アシュラムに出席して奨励、再び愛するインドに帰って最後の年には五十回の説教をされた。本書は発病して治療中の一年間に口述したりして、一九七三年一月八十九才の誕生日にまとめ上げ二週間後にクララ・スウエイン病院で静かに永眠された。彼はエノクの如く神と共に歩み、神が彼を取られたので、いなくなつたのである。

日本滞在中『次の私の本はコリント第二書一章一九二〇』によって書くことにしている』と言われていたが、その通り『神の然り』即ち否定に終る宗教が多いが、十字架の福音は真の意味で人生を肯定する信仰であることを述べている。人生の諸問題を取上げ、悩みに答える良書である。

山根可式先生の新著 アシュラムの恵

本書は小冊子ながらクリスチャン・アシュラムとは何であるかを、五大原則にそいつつ同師の信仰と体験から述べられたもので、曾て本紙上に一部を発表されたが、それを加筆補充されて広く一般の理解に供したいと自費出版されたのである。ぜひジョーンズ博士の小冊子と共に併読されるようお勧めしたい。(一部百円)

創始者ジョーンズ博士記念 三大事業への献金募集中

ぜひ今年度末までに協力を故博士が生前希望された世界アシュラム・センターをガリラヤ湖畔に建設する仕事など三大事業のため米国で六〇万ドルを募集中、日本連盟八地区もこれに賛成して目標一萬ドルを捧げることにしている。今年度末で一応〆切ることになっている。ぜひ有志の御協力を!

記念事業の献金報告

- 第九回(七五年八・九月)
- ◇二万五千元 ○〇姉(四国伊予郡)
- ◇一万円 佐々木生道(代官山、関東)
- 〃 〃 大石 嗣郎(碑文谷) 〃 〃
- 〃 〃 萱沼 孝文(松沢) 〃 〃
- ◇六千元 中部地区アシュラム一同
- 小計(五件)金六一、〇〇〇円
- 累計金二、〇九六、八〇〇円

△連盟を支える力

今年八・九月中の協力献金、感謝。  
中部地区(七五年度) 三万円  
九州地区(〃) 二万円  
東北地区(〃) 二万円

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れ

新区12付 道徳 50円

「アシュラムとは何か」(50円) 「一日アシュラムの守り方」(20円)